

平成16年7月9日
交通政策審議会
第11回港湾分科会

資料 2

清水港港湾計画 —改訂—

清水港港湾計画改訂

位置図



【清水港の役割】

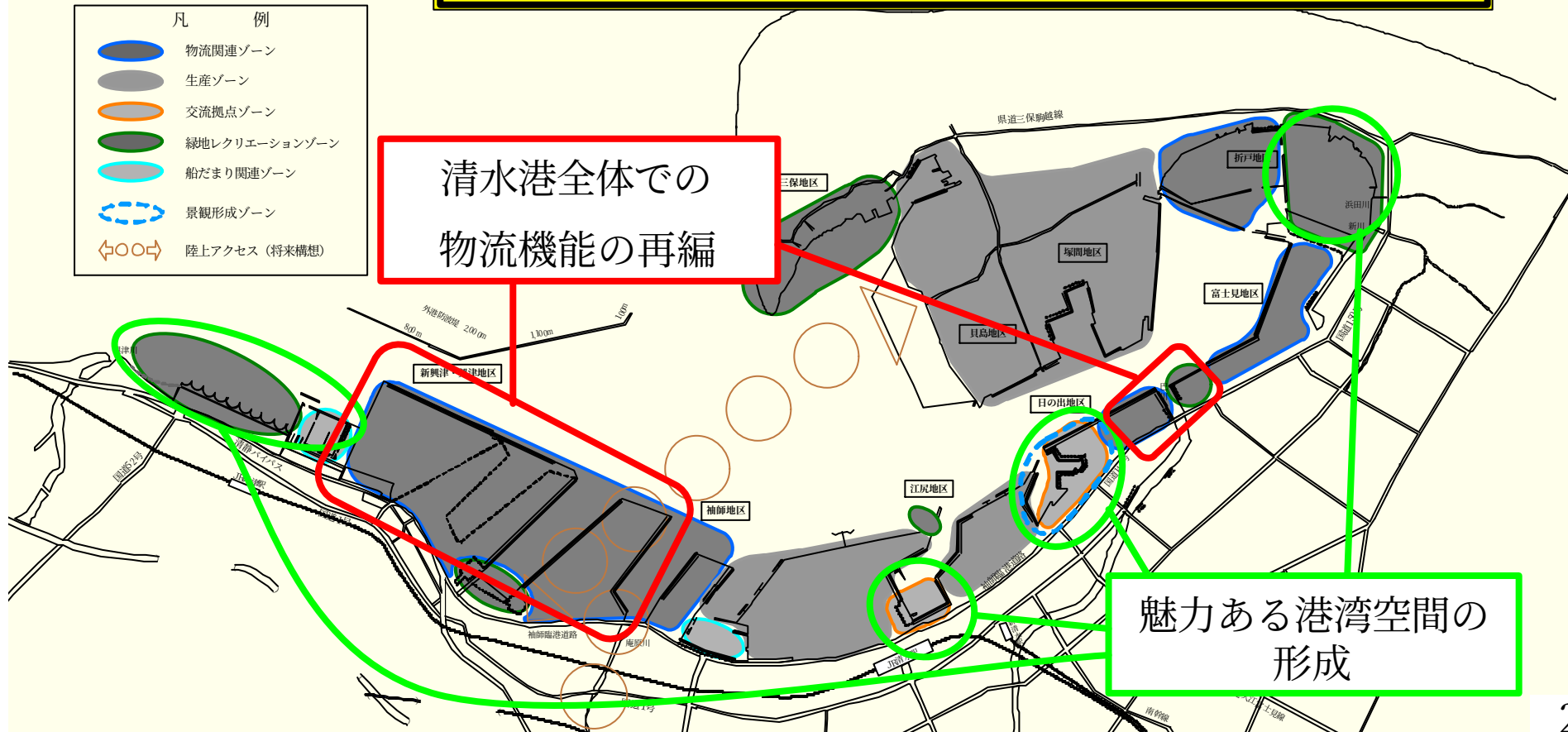
- ・中核国際港湾として我が国及び地域経済の持続的な発展に寄与
- ・交流空間の場として地域の活性化に寄与
- ・市民の暮らしに安心と安全を提供
- ・市民が安らぎと潤いを感じる魅力ある空間を提供

凡 例

- 物流関連ゾーン
- 生産ゾーン
- 交流拠点ゾーン
- 緑地レクリエーションゾーン
- 船だまり関連ゾーン
- 景観形成ゾーン
- 陸上アクセス (将来構想)

清水港全体での 物流機能の再編

魅力ある港湾空間の 形成



1. 清水港全体での物流機能の再編



袖師第2ふ頭

興津第2ふ頭

1. 清水港全体での物流機能の再編

【背景・要請】

- 異種貨物の混在や同種貨物の分散による荷役・荷捌き効率の低下
- 外内貿貨物が混在することによる保安対策上の問題

【対応】

分散している同一機能の集約・再編を図り、効率的な荷役活動や空間利用を行う



1- (1) 国際海上コンテナ取扱機能の拡充・強化



1- (1) 国際海上コンテナ取扱機能の拡充・強化

現状】

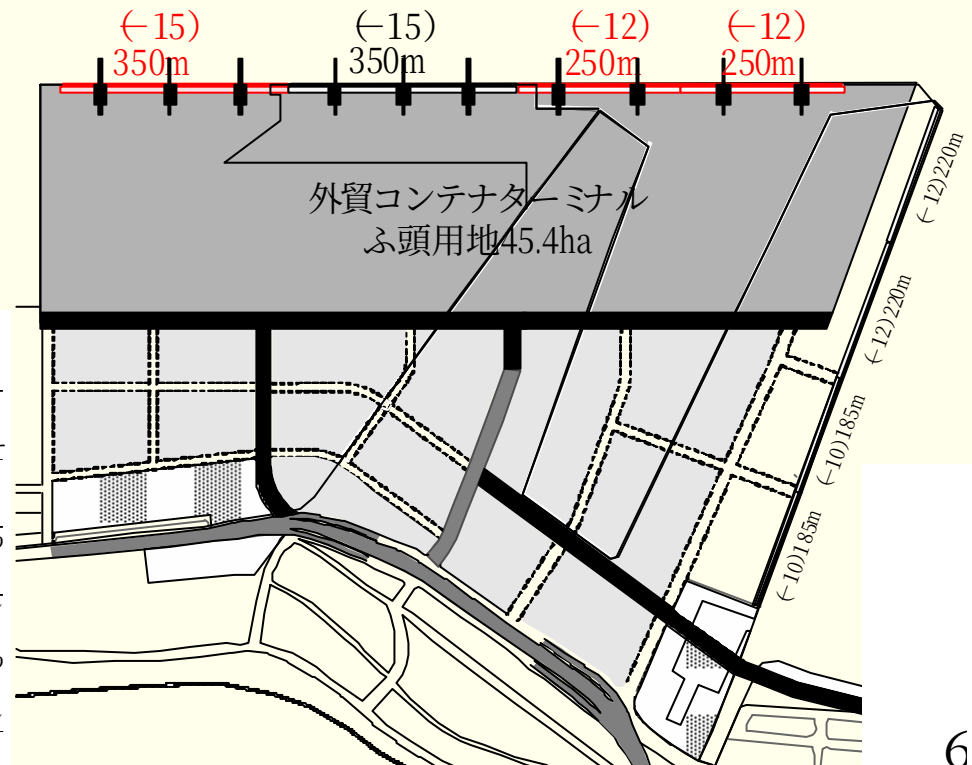
- ・コンテナ貨物量の増加
- ・船舶の大型化、タイトなバース調整
- ・荷役できる背後用地が極端に狭い
- ・コンテナヤードも細かく分散



対策】

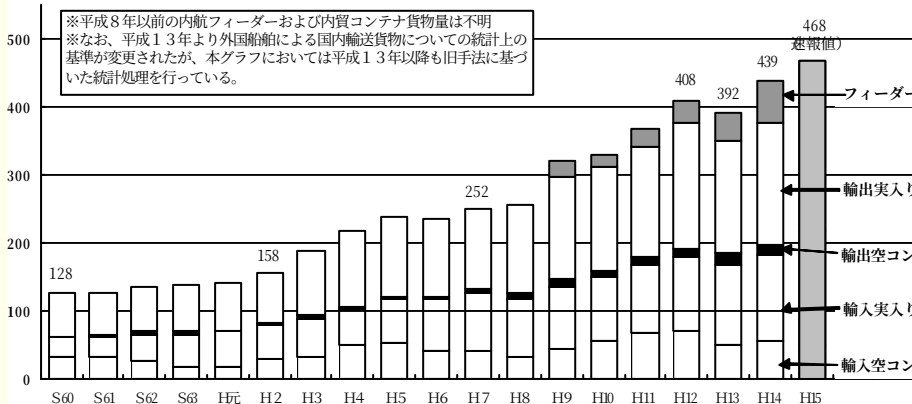
- ◎大水深岸壁、大規模コンテナターミナルの整備
- ◎外貿コンテナターミナルの集約・再編

○新興津地区外貿コンテナターミナル



外内貿コンテナ取扱個数の推移

清水港外内貿コンテナ取扱個数の推移（内貿コンテナはフィーダー貨物のみ）



1- ②人々に安心・安全を提供する 大規模地震対策施設の強化

背景・要請】

- 東海地震等の発生が懸念される静岡県では、大規模地震対策は最重要施策
- 地域住民の生活の安全確保や経済活動の維持を目的とした防災機能の強化が必要

対策】

- 大規模地震対策施設 耐震強化岸壁、背後緑地、道路）の整備

耐震強化岸壁
水深15m 1B 350m 既定計画)
物流機能維持用]

耐震強化岸壁
水深15m 1B 350m 既設)
物流機能維持用]

耐震強化岸壁
水深12m 2B 440m 既設)
緊急物資輸送用]

耐震強化岸壁
水深12m 2B 480m 既設)
緊急物資輸送用]

耐震強化岸壁
水深10m 2B 370m
の岸壁を耐震強化する。
今回計画)
緊急物資輸送用]

緑地 4.0ha
(うち3.7既定計画)

緑地 2.7ha
今回計画)

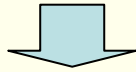
緑地 3.0ha
今回計画)

緑地 3.8ha
既設)

1- (3) 臨港交通体系の強化

背景・要請】

- 慢性的な交通混雑が生じている興津地区周辺道路の改善
- 外貿コンテナ貨物の増大に伴う一層の交通量の増加



対応】

- 港湾内における円滑な交通を確保するため、興津地区周辺において新たな臨港道路を整備

港湾関連車両等による渋滞



- 今回計画臨港道路 (①～⑤)
- 既定計画臨港道路
- 既設臨港道路

新興津・興津地区臨港道路
(今回計画)

袖師地区臨港道路
(今回計画)



2. 魅力ある港湾空間の形成

【背景・要請】

○親水空間の確保に対する地元からの強い要請

○旅客船・海上バス利用の要請

○放置艇対策の要請

【対応】

○緑地、海浜を計画する

○交流拠点空間の形成

○プレジャーボート収容施設の整備



清水港 ～美しいみなとまちづくり～



2- (1) 交流拠点空間の形成



2 (1) 交流拠点空間の形成



2 (1) 交流拠点空間の形成

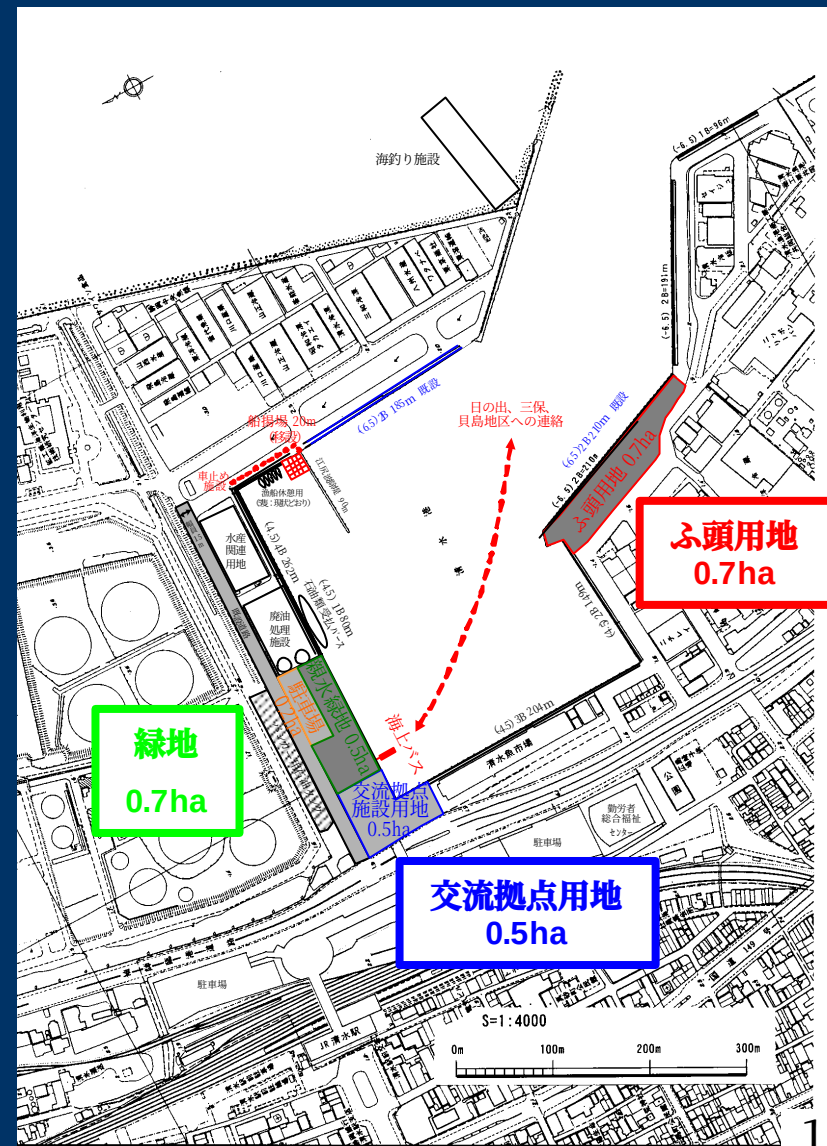
①日の出地区

旅客船やフェリー利用へ対応した交流拠点の形成)



②江尻地区

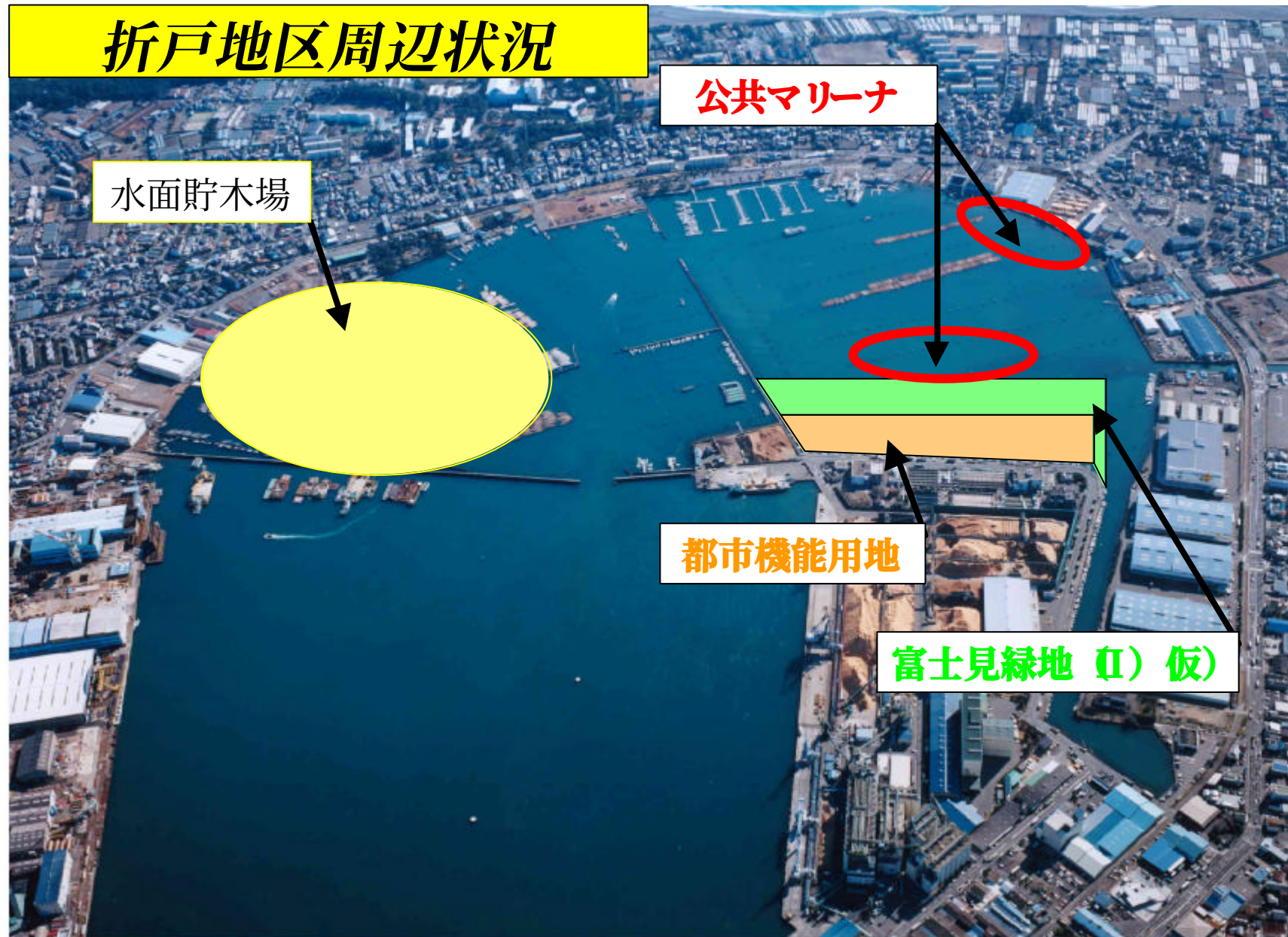
交流拠点空間の形成)



2- (2) プレジャーボート収容施設の整備



2 (2) プレジャーボート収容施設の整備



清水港鳥瞰図

